



神奈川県公立小学校長会会長賞

「つなぐでいこう豊かな心」

横浜市立高田小学校 六年 倉田光希

「おはようございます。」

私は毎朝、たくさんのおはようございます。を言います。家族、友達、近所の方、登校班の係のお母さん、そして校門の前には学援隊の方々。みんなの「おはようございます。」に背中をおいてもう一つ、毎日、うれしい気持ちで登校します。私の町には、子ども一〇番の札がある家がたくさんあり、いつも私達を見守ってくれています。そして、私の家の犬もワンワンパトロールの目印をつけて、毎日散歩をします。夏休みには、初めておまわりさんと話をしました。おまわりさんは、一軒一軒の家をまわって、家庭の状況を確認していました。私は、この時、安心して暮らせる町に住んでいるのだなと実感しました。そして、地域の人々に支えられて生きているということも知りました。

しかし一方で、ニュースを見ると、毎日のように殺人などの犯罪が大きくとりあげられています。調べてみると、日本では平均すると、一日五千五百回ほど犯罪がおに思い出して、犯罪や非行を少しでも防ぐことができるのではないかと考えました。

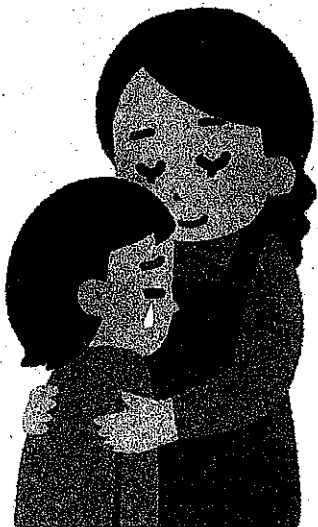
次に、家族のつながりです。私は、悪いとわかっていてどうして非行や犯罪をするのかなと不思議でした。その人が、非行や犯罪をしてしまうのには、やった理由が必ずあると思います。もしかしたら、自分の存在に気づいてほしかったという理由がもしもありません。それは、家族から愛情をそそがれることがなかったり、周りの人に認められることもなく、自分に自信を失ってしまったことが原因だと思います。「心の拠り所」それを失ってしまったから、良い判断ができなくなってしまうたのではないのでしょうか。そばに自分のことを認めてくれる人がいれば、自分に自信をもって、「良いこと」をしよう。優しくなろう。「と思えます。優しくや明るさは伝染します。周りの人々も優しく、明るくなります。だから、私は家族という拠り所がない人も友達や先生、スクールカウンセラーの先生など、寄りそえる人や場所がある社会になつたらいいと思います。

そして、地域のつながりです。小学生のころは、あまり犯罪はおこりません。これは地域の人に見守られながら登校したり、周りの人に支えられて生きているからです。しかし、大きくなると自立して、自分だけで生きているような気になるのかもしれない。だから見守られ

きているそうです。これを計算してみると、十五秒に一回のペースで犯罪がおきていることになりました。これを知り、私はとてもおどろきました。日本は、もう少し安全な国だと思っていたからです。そして、その中でも一番多い犯罪は窃盗です。自転車を盗んだり、万引きが多いそうです。私は、この事実を知って、どうして人の物を盗むのだろうと疑問に思いました。そして、この犯罪を一件でもなくすためにはどうしたらよいのかと考えました。

まず、小学校の道徳の授業の大切さを思い出しました。私が印象に残っている話は、自分勝手にルールを破って狩りをする王様の話です。王様は自分の行動に助言する人の優しさを無だにして、最後は町の人達によつてろっやにいれられてしまいます。この授業をとおして、自分だけの幸せを考えるのではなく、周りの人のことを考えて行動することの大切さを学びました。小学生の時に、道徳の授業をしつかり学んでいれば、大人になったときているときよりも、犯罪をおかす人の数が多くなるのかなと考えます。

私達は、一人では生きていけません。人は必ず親がいて生まれてきます。この世界に生まれてくる一人一人の赤ちゃんが、周りから愛されて育つことができれば、明るい社会になるでしょう。そして、小学校の大切な時に社会のルールをしつかり学んで、心が豊かに成長することが大事です。今、私にできることは、支えてくれる人々に感謝し、将来社会にこういふことができる人になることです。





神奈川県公立小学校長会会長賞

「つないでいこう!」の豊かな心

横浜市立高田小学校 六年 倉田 光希

「おはようございます。」

私は毎朝、たくさんのおはようございます。を言います。家族、友達、近所の方、登校班の係のお母さん、そして校門の前には学援隊の方々。みんなの「おはようございます。」に背中をおいてもいつか、毎日、うれしい気持ちで登校します。私の町には、子ども一〇番の札がある家がたくさんあり、いつも私達を見守ってくれています。そして、私の家の犬もワンワンパトロールの目印をつけて、毎日散歩をします。夏休みには、初めておまわりさんと話をしました。おまわりさんは、一軒一軒の家をまわって、家庭の状況を確認していました。私は、この時、安心して暮らせる町に住んでいるのだなと実感しました。そして、地域の人々に支えられて生きているということも知りました。

しかし一方で、ニュースを見ると、毎日のように殺人などの犯罪が大きくとりあげられています。調べてみると、日本では平均すると、一日五千五百回ほど犯罪がおに思い出して、犯罪や非行を少しでも防ぐことができるのではないかと考えました。

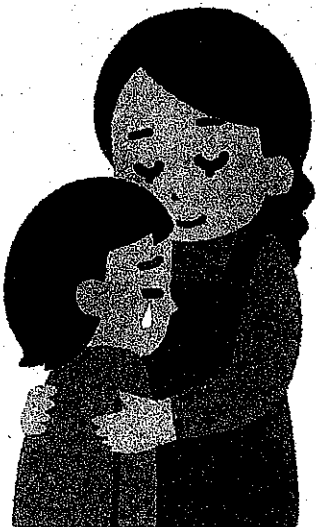
次に、家族のつながりです。私は、悪いとわかっていてどうして非行や犯罪をするのかなと不思議でした。その人が、非行や犯罪をしてしまうのには、やった理由が必ずあると思います。もしかしたら、自分の存在に気づいてほしかったという理由かもしれない。それは、家族から愛情をそそがれることがなかったり、周りの人に認められることもなく、自分に自信を失ってしまったことが原因だと思います。「心の拠り所」それを失ってしまったから、良い判断ができなくなってしまったのではないのでしょうか。そばに自分のことを認めてくれる人がいれば、自分に自信をもつて、「良いこと」をしよう。優しくなるう。」と思えます。優しくや明るさは伝染します。周りの人々も優しく、明るくなります。だから、私は家族という拠り所がない人も友達や先生、スクールカウンセラーの先生など、寄りそえる人や場所がある社会になつたらいいと思います。

そして、地域のつながりです。小学生のころは、あまり犯罪はおこりません。これは地域の人に見守られながら登校したり、周りの人に支えられて生きているからです。しかし、大きくなると自立して、自分だけで生きているような気になるのかもしれない。だから見守られ

きているそうです。これを計算してみると、十五秒に一回のペースで犯罪がおきていることになりました。これを知り、私はとてもおどろきました。日本は、もう少し安全な国だと思っていたからです。そして、その中でも一番多い犯罪は窃盗です。自転車を盗んだり、万引きが多いそうです。私は、この事実を知って、どうして人の物を盗むのだろうと疑問に思いました。そして、この犯罪を一件でもなくすためにはどうしたらよいのかと考えました。

まず、小学校の道徳の授業の大切さを思い出しました。私が印象に残っている話は、自分勝手にルールを破って狩りをする王様の話です。王様は自分の行動に助言する人の優しさを無だにして、最後は町の人達によつてろっやにいれられてしまいます。この授業をとおして、自分だけの幸せを考えるのではなく、周りの人のことを考えて行動することの大切さを学びました。小学生の時に、道徳の授業をしつかり学んでいれば、大人になったときているときよりも、犯罪をおかす人の数が多くなるのかなと考えます。

私達は、一人では生きていけません。人は必ず親がいて生まれてきます。この世界に生まれてくる一人一人の赤ちゃんが、周りから愛されて育つことができれば、明るい社会になるでしょう。そして、小学校の大切な時に社会のルールをしつかり学んで、心が豊かに成長することが大事です。今、私にできることは、支えてくれる人々に感謝し、将来社会にこういふことができる人になることです。





神奈川県公立小学校長会会長賞

「つなぐでいこう豊かな心」

横浜市立高田小学校 六年 倉田光希

「おはようございます。」

私は毎朝、たくさんの「おはようございます。」を言います。家族、友達、近所の方、登校班の係のお母さん、そして校門の前には学援隊の方々。みんなの「おはようございます。」に背中をおいてもうけて、毎日、うれしい気持ちで登校します。私の町には、子ども一〇番の札がある家がたくさんあり、いつも私達を見守ってくれています。そして、私の家の犬もワンワンパトロールの目印をつけて、毎日散歩をします。夏休みには、初めておまわりさんと話をしました。おまわりさんは、一軒一軒の家をまわって、家庭の状況を確認していました。私は、この時、安心して暮らせる町に住んでいるのだなと実感しました。そして、地域の人々に支えられて生きているということも知りました。

しかし一方で、ニュースを見ると、毎日のように殺人などの犯罪が大きくとりあげられています。調べてみると、日本では平均すると、一日五千五百回ほど犯罪がおに思い出して、犯罪や非行を少しでも防ぐことができるのではないかと考えました。

次に、家族のつながりです。私は、悪いとわかっていてどうして非行や犯罪をするのかなと不思議でした。その人が、非行や犯罪をしてしまうのには、やった理由が必ずあると思います。もしかしたら、自分の存在に気づいてほしかったというの理由がもしもありません。それは、家族から愛情をそそがれることがなかったり、周りの人に認められることもなく、自分に自信を失ってしまったことが原因だと思います。「心の拠り所」それを失ってしまったから、良い判断ができなくなってしまうたのではないのでしょうか。そばに自分のことを認めてくれる人がいれば、自分に自信をもつて、「良いこと」をしよう。優しくなるう。」と思えます。優しくや明るさは伝染します。周りの人々も優しく、明るくなります。だから、私は家族という拠り所がない人も友達や先生、スクールカウンセラーの先生など、寄りそえる人や場所がある社会になつたらいいと思います。

そして、地域のつながりです。小学生のころは、あまり犯罪はおこりません。これは地域の人に見守られながら登校したり、周りの人に支えられて生きているからです。しかし、大きくなると自立して、自分だけで生きているような気になるのかもしれない。だから見守られ

きているそうです。これを計算してみると、十五秒に一回のペースで犯罪がおきていることになりました。これを知り、私はとてもおどろきました。日本は、もう少し安全な国だと思っていたからです。そして、その中でも一番多い犯罪は窃盗です。自転車を盗んだり、万引きが多いそうです。私は、この事実を知って、どうして人の物を盗むのだろうと疑問に思いました。そして、この犯罪を一件でもなくすためにはどうしたらよいのかと考えました。

まず、小学校の道徳の授業の大切さを思い出しました。私が印象に残っている話は、自分勝手にルールを破って狩りをする王様の話です。王様は自分の行動に助言する人の優しさを無だにして、最後は町の人達によつてろっやにいれられてしまいます。この授業をとおして、自分だけの幸せを考えるのではなく、周りの人のことを考えて行動することの大切さを学びました。小学生の時に、道徳の授業をしつかり学んでいれば、大人になったときているときよりも、犯罪をおかす人の数が多くなるのかなと考えます。

私達は、一人では生きていけません。人は必ず親がいて生まれてきます。この世界に生まれてくる一人一人の赤ちゃんも、周りから愛されて育つことができれば、明るい社会になるでしょう。そして、小学校の大切な時に社会のルールをしつかり学んで、心が豊かに成長することが大事です。今、私にできることは、支えてくれる人々に感謝し、将来社会にこういふことができる人になることです。

